

三原市立幸崎小学校第5学年 外国語活動学習指導案

指導者 (H R T) 村田 耕一
(A L T) Kimberley

1. 形 態 小学校第5学年 38名 (一斉)
2. 場 所 本郷生涯学習センター
3. 単元名 クイズ大会をしよう (英語ノート Lesson 7) ～What's this ?～

4. 単元について

○単元観

本単元では、What's this ?を自然な形で使う場面として、「シルエットクイズ」や「ブラックボックスクイズ」などのクイズを出し合う活動を取り上げる。

単元導入では、英語ノートのP44・P45を活用し、水族館で様々な魚を見ている場面を設定する。その中で、「これは何だろう」という好奇心を持ってWhat's this ?のダイアログに、慣れ親しむようにしたい。また、「海月」や「海星」などの漢字を取り上げて、それらの漢字が何を表しているのかを考えるクイズを行う。その中で、日本語だけでなく、英語にも単語が組み合わさってできている言葉があることを知り、言葉の面白さに気付かせるようにしたい。

単元終末では、グループで考えたクイズを出題し合うクイズ大会を行わせる。グループで1つのまとまった活動を行うのは、本単元が初めてである。お互いに教え合い、「英語を使ったクイズができた」と一人一人の児童が感じ取れるようにしたい。また、クイズ大会に向けてグループで協力してクイズを作りあげる楽しさも実感させたい。

本単元の内容をコミュニケーションに関することと、言語や文化に関することから述べる。

【コミュニケーションに関すること】

- ・オリジナルのクイズを出し合う中で、コミュニケーションを図る楽しさを体験すること。
- ・積極的にクイズを出したり、答えたりすること。
- ・クイズやその答えをはっきり言うなど、言葉ではっきり伝える大切さを知ること。

【言語や文化に関すること】

- ・クイズを出したり、答えたりしながら、英語の音声やリズムに慣れ親しむこと。
- ・日本語との違いを知り、言葉の面白さに気付くこと。
- ・A L Tと一緒にクイズ大会を体験する中で、文化に対する理解を深めること。

○児童観

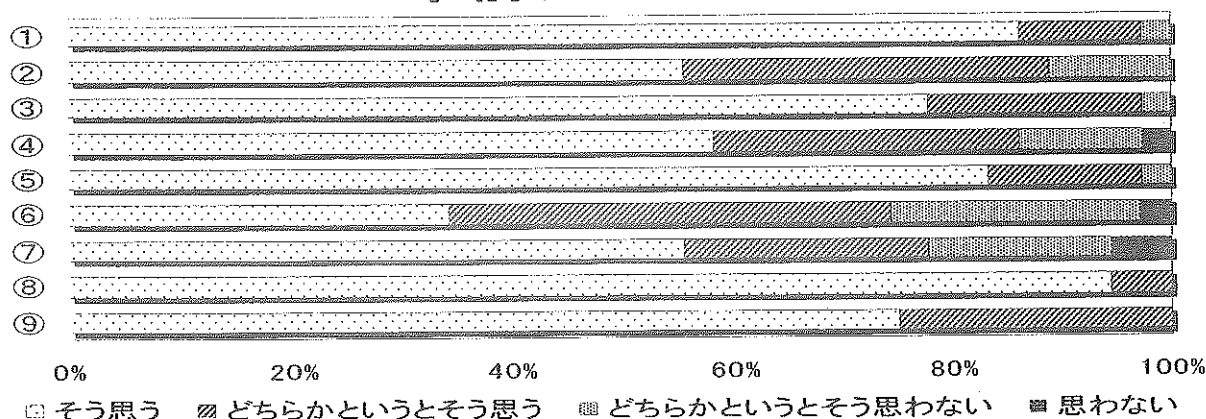
本学級の児童は、1学期に、『世界の「こんにちは」を知ろう』や『ジェスチャーをしよう』、『数で遊ぼう』『自己紹介をしよう』の単元で、世界の「こんにちは」を使ってあいさつをしたり、既習事項を活用しながら「好きなスポーツや果物、教科」や「自分が持っている果物の数」を聞き合う学習をしたりしてきた。その中で、ジェスチャーの大切さを考え、進んでジェスチャーを使うように努めてきた。また、2学期には、『いろいろな衣装を知ろう』や『外来語を知ろう』の単元で、世界の衣装や料理について調べ、調べたことを生かしながら、買物体験をする学習をしてきた。その中で、自分から進んで関わることの大切さを考え、A L Tや外国の留学生に進んで話しかけるように努めてきた。

児童は、これらの活動の中で、進んで表現を覚えようとし、使えるようになった表現で友だちやALT、留学生と会話することができた。

事前に、以下の9つの項目でアンケートをした。

- ① 外国語活動が好きですか
- ② 外国語活動のとき、大きな声で話していますか (Big Voice)
- ③ 外国語活動のとき、相手の目を見て話していますか (Eye Contact)
- ④ 外国語活動のとき、ジェスチャーをつけて話していますか (smile)
- ⑤ 外国語活動のとき、友だちに進んで話しかけていますか
- ⑥ 外国語活動のとき、先生に進んで話しかけていますか
- ⑦ チャンスがあれば、外国の人に話しかけてみたいですか
- ⑧ 外国語活動のとき、キンバリー先生の話聞きとろうとしていますか
- ⑨ 外国語活動のとき、聞くことを意識して友だちや先生と話をしていますか

事前アンケート



9月中旬に行ったアンケートでは、ほとんどの児童が「外国語活動が好き」と回答している。このことから、児童は外国語活動の学習を楽しんでいることが分かる。また、「大きな声で話すこと」や「相手の目を見て話すこと」、「ジェスチャーをすること」も多くの児童ができていていると感じている。これは、これまでの単元の中で、目標を意識した指導を行い、意欲的に活動している児童を積極的にほめることで、学級全体で英語を楽しもうという意欲が高まってきているためだと考える。それにつけ加えて、4月から聞くことを意識した指導を継続的にしてきたため、児童の聞くことに関する意識も高くなっている。また、9月に行った留学生との交流体験では、積極的に外国の方に話しかけ、触れ合う楽しさを実感し、外国の方とのやり取りを楽しむことができた。そのため、1学期に比べて、「外国の人に話しかけたい」という児童も増えてきている。

しかし、中には、英語を用いて表現することを苦手と感じている児童も数名いる。

○指導観

指導にあたっては、次の4点において工夫をしていく。

- ① 児童が意欲的に活動できるように、単元末にクイズ大会を行う。クイズ大会で行うクイズも、これまでの学習を生かしながら、児童が内容を考えるようにしたい。そうすることで、伝えたい内容を持たせ、意欲的に活動ができるようにしていく。
- ② 視聴覚教材を活用していく。スマートボードと英語ノートデジタル版を活用することで、テンポよく資料を提示し、児童にネイティブな英語を聞かせたり、発話させたりする時間をより多く設定していく。その中で、英語を用いて表現することを苦手と感じている児童にも自信を持たせ、表現できるようにしていく。

- ③ コミュニケーションを図ることの楽しさを実感できるように、他学年との交流の場を設定する。具体的には、2年生を招いてクイズ大会を行う。2年生の児童にも分かるように伝える工夫をしたり、一緒にクイズを楽しんだりする中で、英語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさを感じさせたい。
- ④ 児童同士が支援し合えるような環境づくりをしていく。ペアでのダイアログの練習場面やクイズを出し合う場面で、友だち同士教え合えるような雰囲気づくりに努めていく。表現することが苦手な児童も、友だちの支援があれば、自信を持って表現することができるようになると考えている。

5. 単元目標

- 英語にも日本語の二字熟語と同じような言葉があることを知る。
- 積極的に相手にこれは何かと質問したり、答えたりする。
- 英語を使って、クイズ大会をする。

6. 学習計画（全4時間）

時	学習活動	評価△ 方法【 】
1	部分絵クイズや漢字クイズを通して、英語と日本語を比べ、言葉の面白さに気付く。 〔英語ノート p44 Activity〕 〔英語ノート p46 Activity 1〕 これは何かと尋ねたり、答えたりする言い方を知る。 〔英語ノート p45 Let's Chant〕	△英語と日本語を比べ、言葉の面白さに気付こうとしているか。【観察】 △これは何かと尋ねたり、答えたりする言い方を知らうとしているか。【観察】
2	これは何かと尋ねたり、答えたりする言い方を知り、練習する。 What's this? — It's a ○○. クイズ大会に向けて、グループに分かれてクイズを作る。	△これは何かと尋ねたり、答えたりする言い方を知り、使おうとしているか。【観察】
3	ヒントを求めたり、出したりする言い方を知り、練習する。【本時】 One more hint, please. It's ○○. (色) 既習の内容を使い、クイズ大会をする。 <u>クイズ大会をしよう</u> ○ 部分絵カードクイズ ○ ブラックボックスクイズ ○ シルエットクイズ ○ 音声・ジェスチャークイズ ○ 3ヒントクイズ A : Let's start quiz ! A : What's this? B : It's a ○○. A : No. B : One more hint, please. A : It's a ○○. B : It's a ○○. A : That's right.	△お互いに尋ねたり答えたりしながら、クイズ大会を楽しんでいるか。 【観察】【相互評価】【自己評価】

4	既習内容を使い、低学年を招いてクイズ大会をする。 クイズ大会をしよう 2 ○ 部分絵カードクイズ ○ ブラックボックスクイズ ○ シルエットクイズ ○ ジェスチャークイズ ○ 3ヒントクイズ A : Let's start quiz! A : What's this? B : It's a ○○. A : No. B : One more hint, please. A : It's a ○○. B : It's a ○○. A : That's right.	△お互いに尋ねたり答えたりしながら、クイズ大会を楽しんでいるか。 【観察】【相互評価】【自己評価】
---	--	---

7. 本時

(1) 本時の目標

お互いに尋ねたり答えたりしながら、クイズ大会を楽しむ。

(2) 準備物

スマートボード・PC・プロジェクタ（提示用）・英語ノート（デジタル版）

(3) 学習の展開

15min	学習内容と学習活動			教師の働きかけ 支援○ 評価△ 方法【 】
	Pupils	HRT	ALT	
2min	1 あいさつをしよう。 Good morning. I'm fine, thank you and you? It's sunny. It's two o'clock. It's Wednesday. It's November.	Good morning.	Good morning. How are you? I'm fine, too. How is the weather, today? What time is it? What day is it? What month is it?	
5min	・デモンストレーションを聞き、分かったことを発表する。	・スマートボードを操作し、クイズを出す。	・児童役にやり、ジェスチャーを入れながらクイズに答える。	○後の活動で使う表現であることを意識させ、聞かせる。 ○クイズ大会を楽しむためにできることを考えさせる。

5min	3 ダイアログ練習をしよう。 クイズ大会で活用するダイアログを練習する。 【センテンス練習】 A L Tをリピートする形で練習する。 A L TとQ Aする形で練習する。 【使用するセンテンス】 What's this ? It's a ○○. No.(Sorry.) One more hint, please. It's yellow It's a ○○. That's right. ・ A L Tの発音をまねて練習する。 ・ スマートボードを操作し、クイズの状況設定をする。 ・ 正しい発音を聞かせる。	○テンポよく繰り返し練習させ、どの子も発話ができるようにさせる。 ○ヒントを求めるダイアログに慣れ親しませる。
5min	4 クイズの仕方をつかもう。 会話の流れを意識させ、クイズの仕方をつかむ。 A : Let's start quiz ! A : What's this ? B : It's a ○○. A : No. B : One more hint, please. A : It's a ○○. B : It's a ○○. A : That's right. ・ デモンストレーションを見て、クイズの仕方をつかむ。 ・ 2, 3組がモデルを示す。 ・ デモンストレーションを行い、会話の内容を示す。 ・ 意図的に反応を入れる。 ・ クイズの答えが分からない時の対応を考えさせる。 ・ デモンストレーションの中で、正しい発音を聞かせる。 ・ 意図的に反応を入れる。	○モデルとなる児童やA L Tの発話を見せて、「まねる」ことで、自分の表現を改善させる。 ○デモンストレーションにおいても聞くことを意識させる。 ○反応を入れることができる子には、反応を入れさせる。

15 min	5 クイズ大会を開き、友だちとやり取りをしよう。 クイズを出す方と答える方に分かれ、友だちとクイズを行う。 自分の役割を意識して活動を行う。 【クイズ大会の流れ】→2段階構成 ①クイズを出す方と答える方の2つのグループに分かれて、クイズ大会を行う。 ②配役を入れ替えて、クイズ大会を行う。 【児童が作るクイズコーナー】 ○部分絵カードクイズ ○ブラックボックスクイズ ○シルエットクイズ ○音声・ジェスチャークイズ ○3ヒントクイズ			△お互いに尋ねたり答えたりしながら、クイズ大会を楽しんでいるか。 【観察】 【相互評価】 ○活動ごとに相互評価を入れ、お互いのよさを認め合う場面を作る。
8min	6 キンバリー先生のクイズに答えよう。 ALTが作ったクイズに、みんなでチャレンジする。			△ALTの出すクイズを楽しんでいるか。 【観察】
5min	7 本時の振り返りをしよう。 進んで活動することができたかを確かめる。 授業を通して分かったことを出し合わせる。			△お互いに尋ねたり、答えたりしながら、クイズ大会を楽しんでいたか。 【自己評価】
	・クイズを出す方と答える方に分かれて、会話を楽しむ。 ・友だちの良かったところを見つけ、発表する。	・困っている児童と共に発話したり、発音のアドバイスをしたりする。	・困っている児童と共に発話したり、発音のアドバイスをしたりする。	
	・ALTのクイズに答える。	・しっかり聞こうとしている児童やはっきりした声で答えている児童をほめる。	・自分が作ったクイズの問題を出す。	
	・授業を通して分かったことを発表する。	・課題に対応した振り返りをさせる。	・授業を通して、子どもたちの良かったところを英語で伝える。	